

熱中症は、予防できる！

“危険状態の検知”から“予防”へ。革新的な発汗センシング技術が安心をご提供。

熱中症対策デバイス

WLS-1000

熱中症の予防とは??

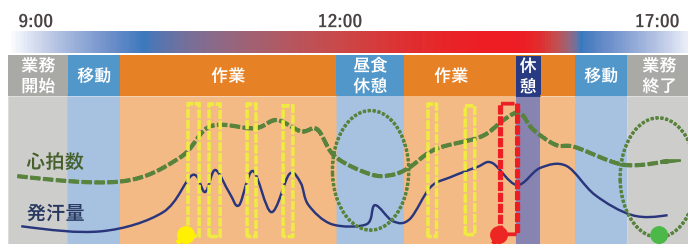
熱中症の根本原因は脱水。脱水の主原因となる発汗量をモニタして初期状態を検知、給水や休憩を促します。(給水アラート※)
適切な給水により、熱中症を予防することができます。

※信州大学医学部との共同研究成果を活用。特許出願中。



WLS-1000

もちろん“危険状態の検知”も。ある建設会社の1日の業務イメージで見てみましょう。



脱水の初期症状で給水を促し、熱中症を予防する「給水アラート」、身体負荷増大を検知し、作業や活動の中断を促す「熱中症警告」2つのアラート※で、熱中症を抑止します。

給水アラート

給水アラート表示されたら、積極的に水分を補給するようにします。危険信号ではないので、作業を中断できるタイミングで問題ありません。

熱中症警告

熱中症警告時には、心肺機能に負担がかかっている可能性があります。涼しいところで休憩します。また、発汗量を確認し、給水量が少ない場合は補います。

発汗量の確認

昼食の際や作業終了時には、発汗量を確認し、給水量が少ない場合は補います。適切な給水により身体のリカバリができます。

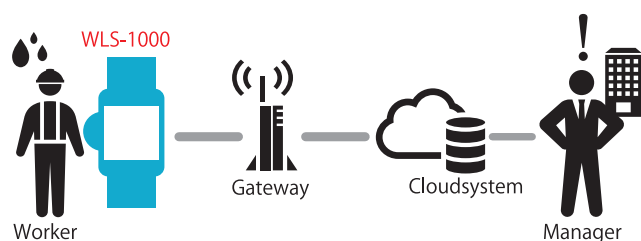
マルチセンサで、身体の変化を見逃さずに検知。

独自開発の発汗センサに加え、心拍、皮膚温、活動量センサを搭載。複数のセンサにより身体の変化を見逃しません。



Bluetooth搭載。 ゲートウェイに接続することで、危険信号を管理者と共有。

デバイスをゲートウェイに接続することで、アラートの状態や記録データを管理者と共有することができます。



コンセプトムービー公開中

本製品は開発中のため、仕様やデザイン等予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。



Science of sweat

SKINOS

株式会社スキノス
〒386-0017 長野県上田市踏入二丁目16番24号
信州大学オープンベンチャー・イノベーションセンター107号室
TEL : 0268-75-9071 FAX : 0268-75-9072
E-mail : info@skinos.co.jp <https://www.skinos.co.jp>

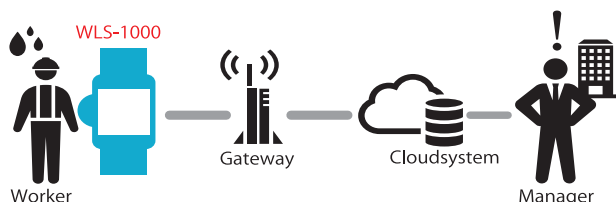
項目	仕様
センサ	発汗センサ、皮膚温センサ、加速度センサ、心拍センサ ※ 心拍センサは高機能モデルにのみ搭載
アラート	給水アラート、熱中症警告 バイブレーション通知
通信機能	Bluetooth
バッテリー	リチウムイオン二次電池
材質	アルミ
バンド	ナイロンバンドまたはシリコンバンド
寸法	51×47.5×14.5mm
付属品	充電器、ケーブル
連携システム	IoTクラウド連携ソリューション(ThingBridge VISION)

※ 仕様等予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

IoTクラウド連携ソリューション(ThingBridge VISION)

直感的なウェブUIを用いた管理画面 スマートフォンブラウザにも対応した 安全管理ソリューション

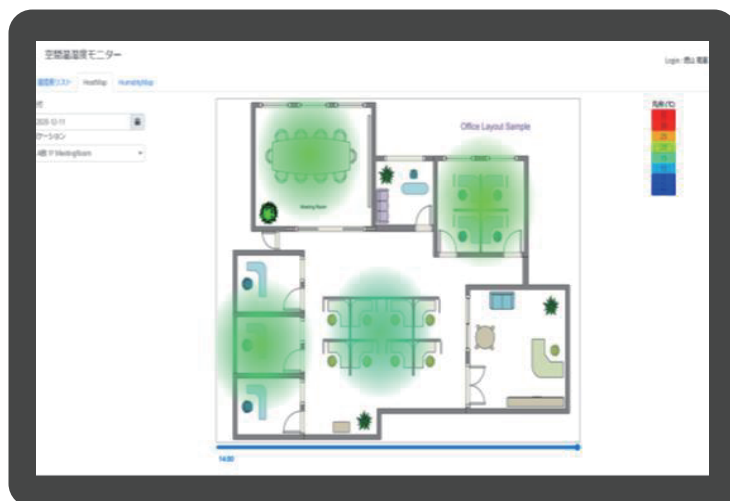
デバイスがゲートウェイの通信エリア内にある時、デバイスの測定データが安全管理クラウドシステムに送信されます。送信されたデータは、直感的なウェブUIを用いた管理画面で閲覧できます。この管理ソリューションは、スマートフォンブラウザにも対応していますので、手軽にご利用頂くことができます。



ゲートウェイの導入で環境センサとの連携も。

ゲートウェイは複数台のデバイスのほか、Bluetoothに対応した異種センサのデータを安全管理クラウドシステムに送信します。生体情報とともに、温度・湿度などの環境センサの情報も同時に管理できます。

THING
BRIDGE
VISION



※ デバイスやセンサがゲートウェイの通信エリア外にある時、クラウドシステムへのデータ転送を行うことができません。

※ 管理画面はイメージ図です。

※ ThingBridge VISIONは、株式会社Agxの提供サービスです。